

文部科学省選定 広島文化学園大学 研究ブランディング事業 「来んさいカフェ:広島」の施設公開

平成29年度、研究ブランディング事業を推進するため、長束キャンパスでは、子ども子育て・教育福祉研究部門として支援を必要とする子ども、障害児・者、高齢・認知症者が健康に暮らす共生社会の実現のために、地域を対象とした集いの場となる「来んさいカフェ:広島」を新たに設置しました。

本学では、平成29年8月25日に、「来んさいカフェ:広島」の周知を図るため、地域の方々をお招きし、施設の公開を行いました。施設の公開には、長東西学区社会福祉協議会、長束地区社会福祉協議会、長束地区民児協（民生委員）、長束地区民生・児童委員、安佐南区役所地域起こし推進課、広島市立広島特別支援学校、長束中学校から16名の方々に参加をいただきました。



学園法人広島文化学園 森元理事長の挨拶

学校法人広島文化学園の森元弘志理事長は、開会で、「文部科学省から選定された研究ブランディング事業を推進し、本学のブランドとして、対人援助職を育て、地域に貢献する大学として、地域の皆様の支援をいただきながら取り組みを進める」との挨拶を行いました。また、引き続き、広島文化学園大学の田中宏二学長から「学生たちが地域行事への参画や地域の方を対象とした大学・短大の行事の企画など、地域との交流に積極的に取り組んでおり、少子高齢者社会に対応していく大学の知的財産を大いに活用してほしい」との挨拶を行いました。

次に、山崎晃対人援助研究センター長によるパワーポイントを使っての「子ども子育て・教育研究」「対人援助研究センターの役割」「来んさいカフェ:広島」「多感覚刺激空間(スヌーズレン)」などについて説明を行いました。

その後、人間の視覚・触覚・聴覚等の原感覚に働きかけることで安心感や安らぎを与える多感覚刺激空間(スヌーズレン)実践室や骨密度計や体組成計等の様々な機器で身体や心の状態を測定・検査する心理・生理検査室の概要を説明し、参加者の方々が、検査室やスヌーズレン室での実体験を行いました。



田中学長の挨拶

最後に、皆様と意見交換会を行い、「来んさいカフェ:広島」に対する期待、改善点等、様々な意見を頂きました。以下に皆様から頂いた評価、意見やアンケート結果を記載しました。

- 1)活動内容について、感想やご意見をお聞かせください。
 - ・体の状態を測定することができ、自分の体調を知ることができるので利用させてもらいたい。
 - ・素晴らしい機材が整っており、施設の利用が期待されます。
 - ・障害があっても支援が必要な児童との活用を期待しています。
 - ・健康チェックについて、地域の高齢者にPRします。

・立派な施設でビックリしました。地域に役立つ施設としての活動は大変すばらしいと思います。障害児・者、高齢者にお知らせして、集いの場となりますよう「来んさいカフェ:広島」の成功をお祈りします。

・私達の地域にこうした施設ができたことは非常に良いことです。皆様に利用していただけるように、機会があるごとに、地域の人に広く知られるよう周知したいと思えます。

・スヌーズレンは頭のリラックスのために活用できるとよいと思えました。

・広島文化学園大学には、地域密着型の活動で地域の認知度を上げた活動をしていただきたいと思えます。

・治療目的か地域のコミュニケーションを図り楽しみの場を作るためのものかはちょっとよくわかりませんでした。この施設は研究のための「来んさいカフェ」(対談の場)ですよね。

・初めて「スヌーズレン」を見ましたが、障害のある方や子育て中の方には、安心できる場だと思えました。

・スヌーズレン実践室の様子は非常に面白く、興味深いものでした。

・もし機会がありましたら、区役所の公式フェイスブックでも紹介ができればと思います。

・検査の後の医療機関等との連携が少し気になるところです。

・定期的な測定ができる仕組みがあったらよい、発達障害に対する研究が進めばよいと思う。

・スヌーズレンの施設は備品が整い、リラックスの場としての活用が期待できると思いました。

・骨密度や体組成などの興味深い内容の高性能の測定器が整い、継続的な活用が期待できると思いました。

・スヌーズレンという空間を初めて体験して、とてもリラックスすることができました。支援を必要とする子どもたちや子育て中のお母さんたちにとっても有効ではないかと思いました。広報活動をしっかりされることで、地域に根差した活動になることを期待しています。

・支援を必要とする地域の人々が健康に暮らす共生社会の実現のためにとてもよい活動だと思えます。

2) また利用するときに、こうしたら気やすくなる、利用しやすくなると思うこと、お気づきのことなどお書きください。

・素晴らしい機材が整っており、この利用が期待されます。障害があり、支援が必要な児童との活用を期待しています。

・チラシがあれば良いと思えます。

・施設が山の上で高齢者が利用するのは少し大変かと思えます。いろいろと私たちも考えてみたいと思えます。

・小・中・高・幼稚園などへのお知らせも大切なこと(連携)だと思えます。

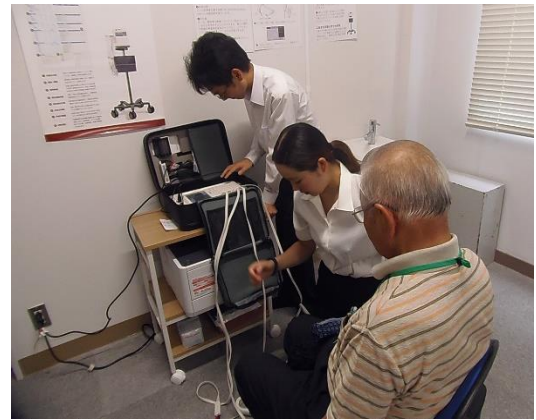
・いろんな団体(サークル、他)に広報されるとよい。

・場所が山ということで、来るのが難であると思う。出張カフェで集会所など利用するのもよいと思えます。

・高齢者の場合、場所的に歩いて大学まで来ることが難しいと思う。高齢者の集まる場所に来ていただけたら、高齢者は喜ぶと思えます。

・各公民館や、区役所の中でも保健福祉課(保険指導係・生涯福祉係、児童福祉係)等への周知が必要かと思えます。

・高齢者は送迎がないと、物理的に難しいと思えます。持ち運びできるものは、イベントなどで紹介していただくとう



学生サポーター 体組成計を用いた検査



スヌーズレンの紹介 保育学科の田頭教授

いと思います。

- 地域団体との交流を広めて頂きたい。
- 地域の学校や子育てサークル等での説明やアピールがあれば利用される方に理解が深まると思います。
- 実際に小中学生が利用するとなると、利用日や時間の設定が必要になると思います。
- スノーブレンの部屋の外に部屋の構図と器具の説明がイラストで分かりやすく表示してあるといいのではないのでしょうか。
- 来んさいカフェの場所がかなり奥でわかりにくく感じました。案内表示があればいいと思います。
- 最後に伺った「出前カフェ」はとてもいいアイデアだと思います。デイサービスとの連携もよいと思います。
- 火・金曜日の10時から12時以外の日時でも利用できればよいと思います。



意見交換会の様子

3) アンケート結果について

参加された皆様から興味深かった施設・機器についてアンケートを取り、図1にはその結果を示した。体組成測定は9割以上の方が興味深いと回答しており、地域の方々には体脂肪、体内水分量などの体組成を調べることへの興味が強かった。また骨密度測定の興味も高く、健康状態を調べる機器が皆様の興味を引いていると考えられる。一方、ウォーターベッドも7割の方が興味深いと感じており、リラックスに関連する備品については一番興味・関心が集まった。

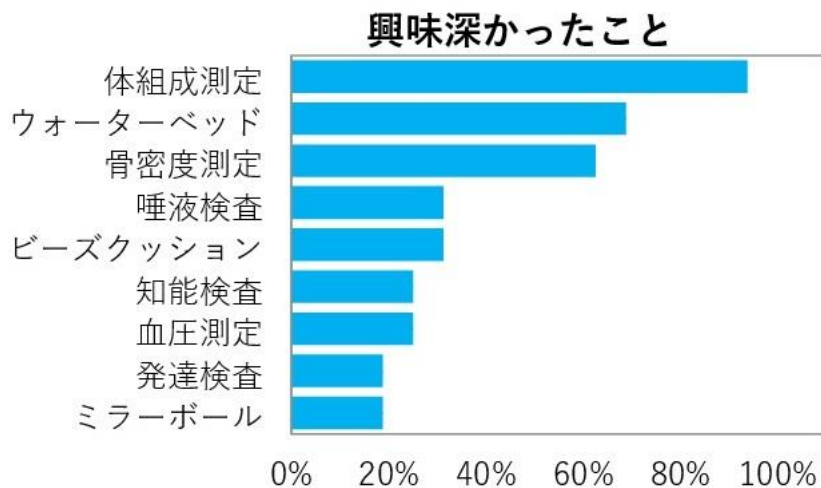


図1 興味深かった機器に関するアンケート結果